

# 平成23年度施政方針に対する 各会派の質疑

## みどり・市民ネット

**野見山** (ア)地域主権改革での保育や介護の質の低下の懸念。(イ)公の施設設置に住民投票ができるように地方自治法が改正される。見解は。

**市長** (ア)国からの確実な財源保障が必要。国へ市長会を通し、意見を上げる。(イ)現在中身がどうなるのか、確固たる考えがないので研究する。

**漢人** (ア)ごみ問題は環境配慮を優先した非焼却方式の導入を明確にするべきでは。(イ)環境配慮優先の地域づくりを推進する環境マネジメントシステムの本格定着と総合的な体制強化を図らないか。

**市長** (ア)安定的な処理が第

## 小金井市議会

### 公明党

**宮下** ①(NPO法人)宇宙船地球号は事務局長の山本敏晴氏が撮影した写真展や講演会の開催を通し、アフリカ等、難民の暮らしを広く知らせ、平和社会構築のための啓発活動を行っている。このような展示等の開催を、市として取り組まないか。

**市長** 国際平和協力については、現地に持続可能な社会をつくるという仕方がある。山本敏晴氏はまさにその実践をしてきた人だ。提案については、内容を把握した上で考えをまとめていきたい。

一義的。非焼却についても考える。(イ)考える必要がある。

**青木** 新庁舎建設市民検討委員会の答申をリース庁舎の早期解消につなげよ。203年末のリース庁舎の契約満了までに建設を終えるため今すぐあらゆる方策の検討をすべき。

**市長** 手続を踏む必要があるし財政問題もある。今言われたことも念頭に置きながらスケジュールを検討したい。

**渡辺** 市民交流センターについて。市長は都市再生機構の「一棟で登記できる」との話を鵜呑みにした。その結果、市議会の購入議決は無効になった。民間の常識で言えば、市には買取り義務はないと考えるが、どうか。

**市長** 法的な見解は、まだ

研究していない。

**片山** (ア)経済的に困難な家庭や発達障害がアンバランスな子どもへの支援を深め、教育格差の解消を。(イ)人権・平和・男女平等施策は啓発だけでは不十分。具体的な反映を。

**市長** (ア)家庭環境による教育格差はあるのか。きめ細かい教育が必要。(イ)講演などでの啓発を進める。

**田頭** (ア)駅南口の大型店舗では、障がい者雇用率は店舗全体では満たされているため、新規雇用は無かった。市からの事業者への働きかけは。(イ)若者の就職状況が悪く、生活保護が増えたが支援策は。

**市長** (ア)把握せず。(イ)20代の受給者数は50%増。若者就労支援は企業の社会的責任で。

## 自由民主党

### 自由民主党

**中根** 高齢者福祉の中でも参加者が大変多い悠友クラブとシルバー人材センターについて(ア)補助金の使い方。(イ)事業仕分で影響を受けた額の補填を。(ウ)事務所作業所の今後。

**市長** (ア)基本的には飲み食

後も我々は協力していきたい。(イ)子ども家庭支援センターや体育館、病院へのアクセス等、公共交通ネットワークの更なる充実が必要ではないか。  
**市長** 多くの意見を聴く中で、今後について、各機関を通して研究していきたい。

## 日本共産党

### 日本共産党

**森戸** 「しあわせに向けた再生小金井のスタート」と述べているが、市民が幸せになれる具体策がない。日本共産党が調査した市民アンケートでは、約60%の市民が「生活が苦しくなった」と答えている。中には「1日数百円で過ごさなければならぬ」という声も寄せられている。経済的支援など市民の生活を守る打開策に取り組みべきである。

**市長** 持続可能な社会を形成するため、受益者負担、民間委託など進める必要がある。

**森戸** ごみ処理施設問題は、「1日も早く安定的なごみ処理体制が確立できるように全力を挙げたい」としか述べていない。二枚橋焼却跡地への建設は不可能。今後の方向性を示すべきである。

**市長** 基本的な考え方に変化はないが、あらゆる方策を

考えていく必要がある。

**水上** 4月から市民交流センターが開設されると述べているが、未登記になった原因が明らかにならない中で開設すべきではない。市民交流センターは、都市再生機構が永久管理すべきである。

**市長** 都市再生機構は自分たちのミスであると言っている。市には責任はない。

**水上** 施政方針では「参加と協働」を推し進めると述べているが、図書館や学童保育の委託化問題などこれに反していた。反省すべきではないか。

**市長** 全て自分の考えが通るとは考えていない。

## 自由民主クラブ

### 自由民主クラブ

**中山** 経済活性化と商業観光振興及び農業支援への臨機応変な追加措置、文化芸術事業の推進、きめ細やかな行政サービスの実現と持続可能な財政健全化策の推進、災害時要援護者支援の強力な推進を。

**市長** 経済活性化策は小金井を元気にする。持続可能な財政運営には更なる行革が必要。豊かな生活へ「しあわせに向けて」の政策を推進する。

**遠藤** (ア)子どもたちの登下校時の見守りを中心とした防犯パトロールの更なる充実を。(イ)セカンドスクールの充実をどのように図れるか。(ウ)高齢者の方々が孤独にならない体制づくりを。

**市長** (ア)行政と地域が力を

合わせてやっていく。(イ)小金井教育プランに示したように充実していきたい。(ウ)支え合いの社会をつくっていきたい。

## 改革連合

### 改革連合

**篠原** 市施策は財政の裏付けあってこそだ。市長が財政再建に努力し改善されてきた事は大変評価する。しかし国の財政政策との関係で臨時財政対策債に依存する予算を組むことは抑制される。今後独自財源を確保していくために落ち込んでいく市税収納率を上げて行くことが大事である。都計税を元の率に戻すことも考えるべきではないか。

**市長** 臨対債は漸減する。それに見合う税収確保と歳出抑制する必要がある。また、収納率を上げて行く努力をしていかなければならない。

**こがねい** 齋藤 (ア)新ごみ処理施設はHDM方式と炭素化を組み合わせた、非焼却システムとするべきである。(イ)広域支援でごみを受け入れていただいている他市の皆さんに感謝の気持ち。

## こがねい

### こがねい

**市長** (ア)平成23年度を含めて安定的な処理を確立することが第一。共同で行うところが第一。共同で行うところが第一。共同で行うところが第一。共同で行うところが第一。

■その他に、市民交流センターの欠陥の是正と新庁舎建設の質問をしました。